

財政課における時間外勤務の縮減について

1 時間外勤務の現状

- 平成25年度の財政課の時間外勤務の実績は、**22,273時間**であったが、年々減少し、平成28年度は、**13,887時間**（熊本地震による時間外勤務を除く）となっている。
- 財政課においては、本年度の時間外勤務（熊本地震による時間外勤務を除く）の目標時間を**10,533時間**と設定しており、今のところ、順調に推移し、目標を達成する見込み。

平成29年度の時間外勤務の目標（財政課）：10,533 時間（平成27年度の時間外実績 × ▲40%）

時間外勤務の累計（財政課）

（単位：時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H25実績	1,592	2,470	4,989	6,013	6,667	8,030	9,829	12,783	16,757	19,791	21,537	22,273
H26実績	1,139	1,891	3,662	4,562	5,648	6,564	8,096	10,882	14,634	18,573	19,525	19,941
H27実績	792	1,255	2,744	3,365	4,184	5,281	7,238	10,063	13,448	16,422	17,650	17,888
H28実績 （※震災除く）	410	661	2,415	4,242	5,120	5,616	6,712	8,349	10,732	13,189	13,816	13,887
H29実績 （※震災除く）	511	683	1,654	2,201	2,721	3,118	4,069	5,828	8,207	目標まで残り2,326時間		

財政課における時間外勤務の縮減について

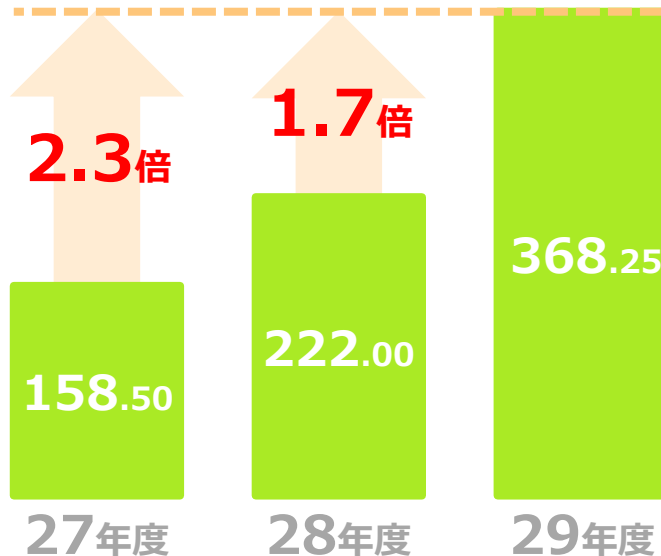
2 時間外勤務縮減の取組①

- 休日に勤務した際の「振替」を徹底し、平成29年度の振替時間数は、12月時点で368時間となっており、前年度の222時間を大きく上回っている状況。
- 毎月はじめに、朝礼の時間を利用して、前月までの時間外勤務の状況をグラフにまとめ配布することで、時間外勤務の現状及び目標に対する達成状況を可視化。

振替時間数の推移

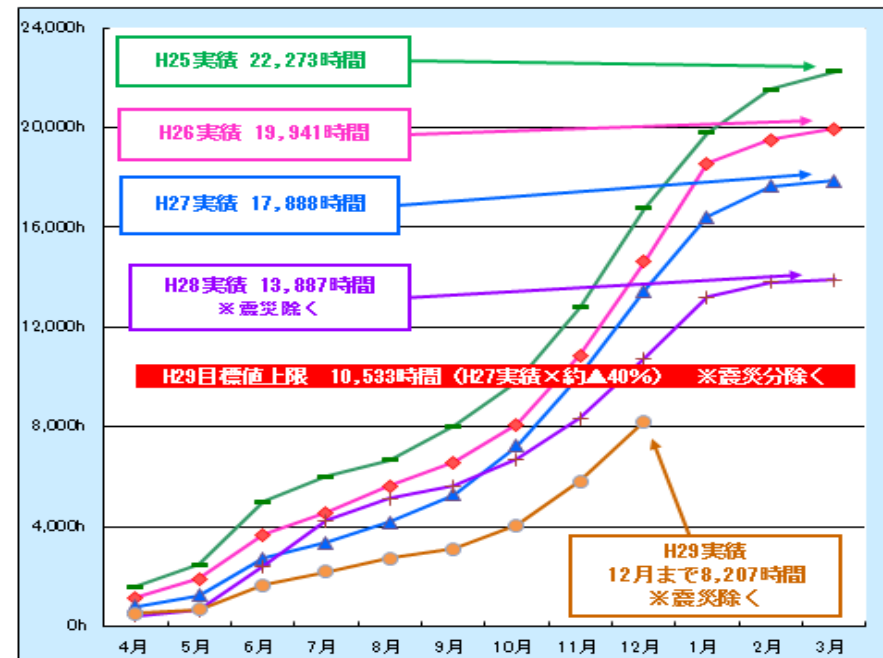
振替時間数は年々増加し、平成29年度の時間数は、平成27年度の12月時点と比較して**2.3倍**、平成28年度と比較しても**1.7倍**になっている。

■ 12月まで振替時間数（平成27→29年度）



時間外勤務状況の可視化

時間外勤務の状況を経年比較し、分かりやすくグラフ化して示すことで、時間外勤務の現状と目標までの残時間等を把握する。



財政課における時間外勤務の縮減について

3 時間外勤務縮減の取組②

- 予算業務については、**事務の簡素化・議論の効率化**を図るため、資料作成の手法を見直すとともに、経常的・義務的にかかる予算については、配分方針を各局に「一任」することとした。
- 決算業務については、**繁忙期の時間外勤務を縮減**する観点から、関係部局と調整の上、作業日程を再編する等の工夫を行った。

予算業務の見直し

- ・ 予算要求課と財政課とで重複して行っていた**資料作成の手法を見直す**（既存資料を最大限活用する等）ことで、**事務を簡素化する**とともに、庁内で予算査定を進めるに当たって、まず、各局の個別事業の内容や金額を**全て並べて一覧表の形で整理**することで、**議論の効率化を図った**。
- ・ 経常的・義務的にかかる予算については、（多くの議論を要しないことから、）**予算の配分方針を各局に「一任」**することとし、各担当者が行っていた予算内容の確認等に要する時間を削減した。

決算業務の見直し

- ・ 決算の審査を行う監査事務局と調整し、前年度の決算内容の説明を行う「監査概況説明」の日程を後ろにずらすことにより、各担当者の**作業量及び作業時間を平準化し、繁忙期の時間外勤務の縮減を図った**。
- ・ あわせて、決算に関連する作業内容等について、**可能な限り簡素化**を図った。

上記のような事務事業の見直しにより時間外勤務を大きく削減

■ 時間外勤務状況（4月～12月まで）

	27年度	28年度	29年度		
			削減率(対H27)	削減率(対H27)	
予算業務	9,273	7,464	-19.5%	5,309	-42.7%
決算業務	2,336	2,284	-2.2%	1,363	-41.7%